

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

平成31年01月30日

計画の名称	岸和田市公共下水道整備計画													
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度（5年間）												重点配分対象の該当	
交付対象	岸和田市													
計画の目標	公共水域の水質保全を図り、快適で活力ある暮らしの実現に向け、総合的な下水道事業の継続を進め、安心安全な市民生活の確保を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		1,800	A	1,800	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H27当初)	(H29末)	(H31末)
1	下水道処理人口普及率を93.2%（H27）から93.7%（H31）に増加させる。			
	下水道処理人口普及率	93%	94%	94%
	下水道処理区域人口（人）/行政人口（200,730人）			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－
【定量的指標】（H27当初）93.2%、（H29末）93.5%、（H31末）93.7%								

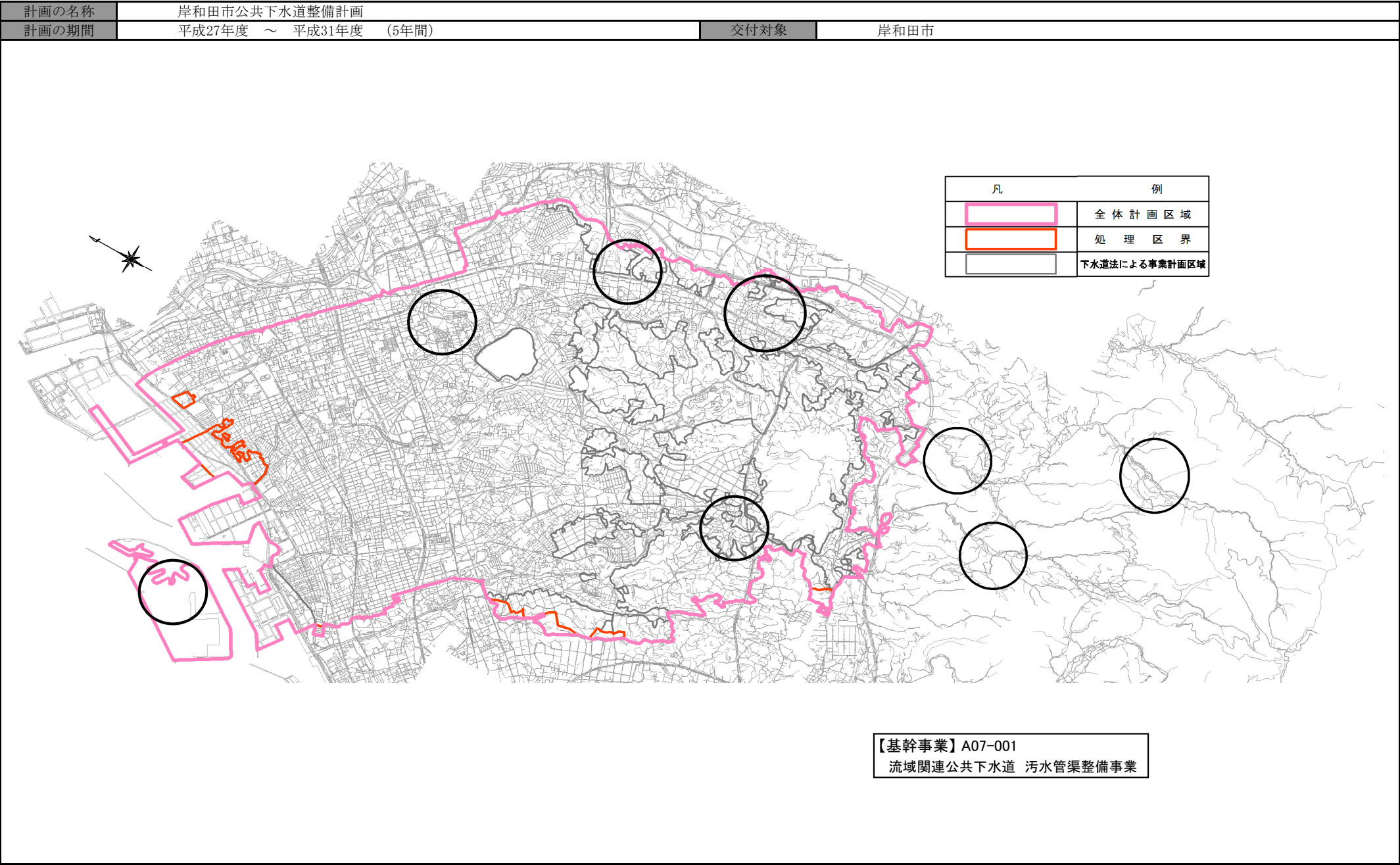
A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	岸和田市	直接	岸和田市	管渠（ 污水）	新設	流域関連公共下水道 汚 水管渠整備事業	污水管 φ200～1500 L＝1 5,000m 計画策定	岸和田市	■	■	■	■	■	1,800		－	
												小計						1,800		
												合計						1,800		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H 27	H 28	H 29	H 30	H 31
配分額 (a)	236	171	225	57	72
計画別流用増△減額 (b)	0	0	△25	0	0
交付額 (c=a+b)	236	171	200	57	72
前年度からの繰越額 (d)	126	0	0	0	0
支払済額 (e)	362	171	200	57	72
翌年度繰越額 (f)	0	0	0	0	0
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	0
不用額 (h = c + d -e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率 (i= (g+h) / (c+d)) %	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不要率が10%を超えている場合その理由					

(参考様式3)



事前評価チェックシート

計画の名称： 岸和田市公共下水道整備計画

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①基本方針との適合等	
I. 目標の妥当性 1) 計画の目標が『岸和田市都市計画マスタープラン』など、基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえて計画の目標が設定されている。	
II. 計画の効果・効率性 ②目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 4) 指標・数値目標が市民にとってわかりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 ④地元の熱意	
III. 計画の実現可能性 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 2) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○

[illegible]